セルフモニタリング報告書（令和5年度分）

令和6年4月30日

施設名　苫小牧市民活動センター
指定管理者名　苫小牧市社会福祉協議会
所管課名　福祉部　総合福祉課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1　事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	適切な管理運営を行った。	A・B・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	４・５月はコロナの影響もありましたが、利用者数は増加傾向で利用者への利便性の向上に努めた。	A・B・C・D・E
~~施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。~~		~~A・B・C・D・E~~
自主事業は計画どおり行われたか。	花壇づくりやコピー・コーヒーサービス等は予定通り実施した。アンブレラスカイについては変更し、新たにロビーのテレビを活用して５分程度の体操を流し、健康づくりを行いました。	A・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	関係機関・団体と連携して、花壇づくりやボラセンフェスティバルなどを開催しました。	A・B・C・D・E
2.　利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	利用者のアンケートの回答では一定の満足を得られた。	A・B・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	アンケート・御意見箱・窓口での要望の把握に努めた。	A・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	利用者からの要望として、プロジェクターを 1 台追加したことや貸室の部屋名をドアに設置し、わかりやすくしたことなど、経常費で対応可能なものは早急に改善した。	A・B・C・D・E
3　管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその	物価高騰もあったが、市況価格を	A・B・C・D・E

取組は十分か。	把握し、購入に努めた。	
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	競争入札により委託費を最小限に抑えるよう努めた。	A・B・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	各種団体の市民活動に影響のない範囲内で空き状況を公開し、空き室の稼働率向上を行った。	A・B・C・D・E
４　適正な管理運営		
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	コンプライアンス研修やマナーとビジネスパーソンとしての対応を身につける研修など能力向上に向けた研修などに参加させた。	A・B・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	高所作業などは 2 名体制で行うなど安全対策し、事故防止に努めた。	A・B・C・D・E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	利用者の利便性を優先し配置した。	適・不適
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	多目的ホール・市民ギャラリーの予約については抽選に変更し、条例により公平な利用の確保に努めた。	適・不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	個人情報に係る書面は、施錠して管理をし、かかわりのある課の机にも必ず施錠して帰宅させた。	適・不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	四半期ごとの監事監査等及び税理士の指導により法人会計を適切に管理した。	適・不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	指定管理の保守点検業務仕様書のとおり、適切に務めた。	適・不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	書類については鍵付きの書庫にて管理し、使用に支障がある備品は都度、交換した。	適・不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	協定事項を遵守するとともに、法令の適正管理に向けて公益通報者保護規程を遵守した。	適・不適
５　地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	地元を優先し調達等行った。	A・B・C・D・E

A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
B：目標、事業計画どおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。
C：概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
E：目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価　★★★★☆

（最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。）

[4 適正な管理運営]において不適がある場合、その理由と今後の対応について

指定管理者の自己評価（全体を通して）

事業計画の内容に沿って利用者の利便性が向上するよう、夜間・休日の受付の対応やアンケート、設備の保守点検などを実施し管理運営を行いました。

令和５年度の自主事業については、㈱百花園の協力のもと、苫小牧風花の会の会員の皆さまと一緒に西側駐車場に花壇づくりを行いました。花苗 100 株を植え、参加者の皆さまからも「花の並びがきれい」など感想を語り合う場面もありました。夏にはマリーゴールドやカスミソウなど８種類の花が咲き、来館者の皆さまから「昨年とは違う色合いだね」「きれいに咲いていて気持ちがいい」と喜びの声もありました。

また、1 階ロビーのテレビにて５分程度の座ったままできる体操を流し、来館者の皆さまの健康づくりの一環として実施しました。実際の声として「椅子に座ったまま体操ができるので安心」「待ち時間に運動しているよ」などと好評でした。

男女平等参画推進センターにおいては、「苫小牧市男女平等参画都市宣言 10 周年」記念事業として、「みんなの学校上映会と木村泰子先生の講演会」他各種啓発事業を実施し、男女平等参画の意識の向上に努めました。

男女平等参画推進センター相談事業においては、例年の事業に加え、職場のセクハラなどのハラスメントや働き方の相談として「社会保険労務士による女性のための無料労働相談」を実施いたしましたが、相談者数が少なく課題を残す結果となりました。

次に、登録サークルで構成するサークル協議会で令和４年度に行ったアンケート調査結果を踏まえた「男女平等参画推進センターサークル体験見学会」を新規に実施し、サークル活動の活発化を図りました。

利用者については、令和５年度 111,941 人（前年比 122.6%）と前年より増加し、収入面では 4,514,835 円（前年比 101.7%）と前年と同程度となりました。新型コロナウィルスが５月より５類へ移行となり、市民の行動意識が緩和したことが利用人数増の要因と考えております。しかし、センターの設置目的は社会福祉活動、男女平等推進活動に関連する市民活動の推進であることから利用人数は増えていますが、収入は増えてい

ないのが課題となっております。増収対策に限度はありますが、収入を増やすために若年層への周知や市民ギャラリーの利用を増やすなどの取組を検討し、今後も市民活動を優先に施設が有効活用されるように努めてまいります。

サービス面では、西側駐車場に歩行者と車の事故防止のため注意喚起の看板を設置し、東側駐車場には利用者が縁石に車を擦ることを予防するためコーナーポールを設置することで利用者の安全配慮を強化する取り組みを行いました。その他にもアンケートなどから利用者の声を反映し、プロジェクターの追加や貸室のドアに部屋名を貼ることにより、出入りの際にどこの部屋にいるか分かり易くしました。

また、猛暑の影響でエアコン設置の要望が例年に増して多く、利用者の暑さや熱中症対策を目的に１階ホワイエのテーブル席にパラソルを設置し、貸室のブラインドが壊れた箇所については、カーテンを設置するなど環境の整備を行いました。

設備についても、照明器具の安定器故障に関して、随時、LED 照明へ交換を行ってまいりました。また、市に働きかけていた外壁工事、エレベーター部品交換工事などの修繕を行い、施設の安全、安定的運用を確保できました。

今後も対応が可能な範囲で最大限の環境設備に努めたいと考えております。